

注3

大学番号：私229

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

神戸女子大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人行吉学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 ポートアイランドキャンパス事務部

職名・氏名 シムフチョウ シゲトウ ミエコ
事務部長 重藤 美江子

電話番号 078-303-4700

（夜間） 078-303-4717

F A X 078-303-4703

e-mail shige@yg.kobe-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人行吉学園

(2) 大学名

神戸女子大学

(3) 大学の位置

〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号

(〒654-8585 兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユキヨシ トモユキ) 行吉 誠之 (平成18年4月)		
学長	(ナカシマ ミノル) 中島 實 (平成25年4月)		
学部長	(ノナミ ヨウコ) 野並 葉子 (平成27年4月)		
学科長等	(ノナミ ヨウコ) 野並 葉子 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-人	80人 (-) [-]	-人	80人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人	1.11倍	
志願者数	1055 (-) [-]	-	1235 (-) [-]	-	1593 (-) [-]	-	- (-) [-]	-		
受験者数	1039 (-) [-]	-	1212 (-) [-]	-	1588 (-) [-]	-	- (-) [-]	-		
合格者数	146 (-) [-]	-	209 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	- (-) [-]	-		
B 入学者数	86 (-) [-]	-	92 (-) [-]	-	91 (-) [-]	-	- (-) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.15		1.13		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	86 [-] (-)	- [-] (-)	92 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		86 [-] (-)	- [-] (-)	90 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		85 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	86 [-] (-)		178 [-] (-)		266 [-] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	86 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	就学意欲の低下(1人)	1.16 %
			平成28年度	1 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
			平成30年度	- 人	- 人		
平成28年度 入学者	92 人	2 人	平成28年度	2 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)	2.17 %
			平成29年度	- 人	- 人		
			平成30年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	91 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人		0.00 %
			平成30年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		0.00 %
合 計	269 人	3 人					1.11 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基幹科目	基礎 I	1前		2		3						
	基礎 II	1後		2								兼1
	基礎 III	2前		2		1						
	女性 I	1前		2								兼1
	女性 II	1後		2								兼1
	女性 III	1前		2								兼6
	女性 IV	1後		2								兼1
	神戸学	1前		2								7
	地域学習	1通		2				1				
語学科目(世界の言語)	英語 I-1	1前		1								兼2
	英語 I-2	1後		1								兼2
	英語 II-1	1前		1								兼2
	英語 II-2	1後		1								兼2
	外国語コミュニケーション I	1前		1								12
	外国語コミュニケーション II	1後		1								12
	教養英語 I-1	1前		1								兼1
	教養英語 I-2	1後		1								兼1
	教養英語 II-1	1前		1								兼1
	教養英語 II-2	1後		1								兼1
	ドイツ語 I-1	1前		1								兼1
	ドイツ語 I-2	1後		1								兼1
	ドイツ語会話 I	1後		1								兼1
	ドイツ語講読 I	2前		1								兼1
	フランス語 I-1	1前		1								兼1
フランス語 I-2	1後		1								兼1	
フランス語会話 I	1後		1								兼1	
フランス語講読 I	2前		1								兼1	
中国語 I-1	1前		1								兼1	
中国語 I-2	1後		1								兼1	
中国語会話 I	1後		1								兼1	
中国語講読 I	未開講 2前		1								兼1	
朝鮮語 I-1	1前		1								兼1	
朝鮮語 I-2	1後		1								兼1	
朝鮮語会話 I	1後		1								兼1	
朝鮮語講読 I	2前		1								兼1	
イタリア語 I-1	1前		1								兼1	
イタリア語 I-2	1後		1								兼1	
イタリア語会話 I	1後		1								兼1	
イタリア語講読 I	2前		1								兼1	
情報科目	情報 I	1前		2								兼2
	情報 II	1後		2								兼1
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									兼1
	スポーツと健康の科学	1前		2								兼1
	スポーツ実技 I-1	1後		1								兼3
	スポーツ実技 I-2	2前		1								3
	スポーツ実技 I-3	2後		1								3
	スポーツ実技 I-4	3前		1								3
	スポーツ実技 I-5	3後		1								3
	スポーツ実技 I-6	4前		1								3
	スポーツ実技 I-7	4後		1								3
	スポーツ実技 II-A	1後		1								123
	スポーツ実技 II-B	2後		1								123
	スポーツ実技 II-C	3後		1								123
	スポーツ実技 II-D	4後		1								123

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
全学共通教養科目 一般科目	人 と 思 想 哲学	1前		2								兼1		
	宗教	1前		2								兼1		
	人 と 自 然 の 関 係 心理学 I	1前		2								兼1		
	心とからだの健康	1後		2								兼6		
	言 葉 と 文 学 言葉と文学 I	1前		2									兼1	
		言葉と文学 II	1後		2								兼1	
		言葉と文学 III	1後		2								兼1	就任辞退による担当者の変更 (28)
	歴 史 歴史 I	1前		2									兼1	
		歴史 II	1後		2								兼1	
		歴史 III	1後		2								兼1	
	現 代 社 会 日本国憲法	1前		2									兼1	
		現代社会 I	1後		2								兼1	
		現代社会 II	1前		2								兼1	
		現代社会 III	1後		2								兼1	
		現代社会 IV	1後		2								兼1	就任辞退による担当者の変更 (27)
		現代社会 V	1前		2								兼1	
	数 学 数学 I	1後		2									兼1	就任辞退による担当者の変更 (29)
		数学 II	1前		2								兼1	就任辞退による担当者の変更 (29) 就任辞退による担当者の変更 (28)
	自 然 と 環 境 自然と環境 I	1後		2									兼1	設置時の計画通り、雇用期間満了による担当者変更 (29)
		自然と環境 II	1前		2								兼1	
芸 術 芸術 I	1前		2									兼1		
	芸術 II	1前		2								兼1		
衣 ・ 食 ・ 住 衣・食・住 I	1前		2									兼2		
	衣・食・住 II	1後		2								兼45	授業内容の充実を図るためにホコバ形式の授業とし担当者を追加 (27)	
教 養 総 合 科 目 教養総合 I	1前		2									兼1		
	教養総合 II	1後		2								兼1		
	教養総合 III	2前		2								兼1		
	教養総合 IV	2後		2								兼1		
	教養総合 V	3前		2								兼1		
	教養総合 VI	3後		2								兼1		
	教養総合 VII	4前		2								兼1		
	教養総合 VIII	4後		2								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手					
基礎 専門 科目	特別生物	1前		2								兼1	授業運営上の都合によりレバンス形式から変更 (29) より充実した教育内容とするためレバンス形式の授業に変更 (28)		
	特別化学	1前		2								兼1			
	生命倫理	1後		2								兼1			
	発達心理学	1前		2								兼1			
	医療と法	1後	1									兼1			
	コミュニケーション論 (表現学)	1後		2								兼12			
	食品学総論	1後		2								兼1			
	栄養代謝学	2後	1									兼1			
	フィジカルフィットネス	2後		1								兼1			
	薬理学	2前	1									兼1			
	社会福祉・社会保障論	2前	1									兼1			
	社会福祉・社会活動論	3後	1									兼1			
	公衆衛生学	1後	1			1									
	疫学	2前	2			1									
	保健統計学	3後	2			1									
	健康相談活動	4後		2				1							
	学校保健II	3後		1					1						
	国際保健	4前		1								兼1			
	医療英語	4前		1								兼1			
	専門 科目	看護学概論	1前	2			1								就任辞退による担当者の変更 (29) [担当 服部めぐみ (助教) 平成28年7月 教員審査済 判定 可 就任辞退による担当者の変更 (29) [担当 服部めぐみ (助教) 平成28年7月 教員審査済 判定 可 就任辞退による担当者の変更 (29) [担当 高橋秋絵 (助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による担当者の変更 (29) [担当 高橋秋絵 (助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可
		生活概論	1前	1			2		1						
		生活援助論	1後	1					1						
		予防看護論	3後	1					1						
		看護情報学	3後	1			1								
		看護倫理	4後	1			4		1						
実践看護論		2前	1			1									
老年看護論		2前	1			1									
老年看護実践方法論		3後	2				1								
在宅看護論		3前	2			1		1							
コミュニティヘルスケア看護技術演習I		1前	1			2	1	2							
コミュニティヘルスケア看護技術演習II		2後	2			2	1	2							
コミュニティ看護実習I		1後	1			3	1	3	3	2					
コミュニティ看護実習II (老年)		2後	2			1	1		1	1					
公衆衛生看護学概論		3前	2			1									
コミュニティケアシステム論		2前	1			1		4							
地域看護活動論		3前	2					1							
公衆衛生看護演習		4前		1				1							
公衆衛生看護活動論I		3後	2					1							
公衆衛生看護活動論II		3後	1			1									
公衆衛生看護管理論		4前	1			1									
災害看護		4前	1			5	1	1							
学校保健I		3後		1				1							
公衆衛生看護活動論実習		4前		2		1		2	3	2					
公衆衛生看護管理論実習		4前		1		1		1	3	3					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	医 療 看 護 分 野	人体のしくみと機能Ⅰ	1前	2								兼1	
		人体のしくみと機能Ⅱ	1後	2								兼1	
		疾病と治療Ⅰ	2前	1								兼1	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								兼6	
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								兼1	
		疾病と治療Ⅳ	2前	1								兼1	
		感染免疫学	2後	1			1						
		医療ケアシステム論	2前	1			3						兼1
		急性期看護論	3前	2			1						
		慢性期看護論	3前	2					1				
		治療看護論	2前	1					1				
		治療療養支援技術演習	3前	1			1		2				
		精神看護論	2前	2			1		1				
		こころの健康増進と看護	3後	1			1						
		精神看護支援技術演習	2後	1			1		1				
		医療看護実習Ⅰ	1前	1			2		5	2	4		
	医療看護実習Ⅱ（精神）	2後	2			1		1		2			
	医療看護実習Ⅱ（急性期）	3前・後	3			2		1		2			
	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	3前・後	3			1		2	2				
	成 育 看 護 分 野	疾病と治療Ⅴ	2後	1								兼1	
		疾病と治療Ⅵ	2後	1								兼1	
		小児看護論	2後	2			1						
		小児療養看護論	3前	1					1				
		家族看護論	3前	1			3		2				
		養護概説	2前		2				1				
		母性看護論	2後	2				1					
		女性の健康増進と看護	3前	1			1						
		成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2				
		成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2				
		成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	1	3	2	1		
		成育看護実習Ⅱ（小児）	3前・後	2			1		2	1	1		
		成育看護実習Ⅱ（母性）	3前・後	2			1	1	1	1			
助産学概論		3前		1			1						
助産診断技術論		3後		2				1					
助産診断技術論演習		4前		2		1	1	1					
助産管理	4前		1		1								
助産学実習	4前		8		1	1	1	1					
統 合 看 護 科 目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			9	2	9					
	学びのグループゼミⅡ	2通	1			9	2	9					
	学びのグループゼミⅢ	3通	1			9	2	9					
	学びのグループゼミⅣ	4通	1			9	2	9					
	課題探究	4通	4			8	2	9					
	総合実習（地域・在宅）	4前	4			8	2	9	7	8	7	就任辞退による担当者の変更（29） 担当 服部めぐみ（助教） 平成28年7月 教員審査済 判定 可 教育内容の充実を図り教員を追加 （29） 担当 高橋秋絵（助教） 平成29年1月 教員審査済 判定 可	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備 考	
			必修	選択	自由	計	教 授	准教授	講 師	助 教		助 手
教職に関する科目	教職論	1前			2							兼1 定年退職による担当者変更 (29)
	教育基礎論Ⅱ	1前			2							兼1 教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったため担当者を変更 (27)
	教育心理学Ⅱ	1前			2							兼1 履修希望者がいなかったため (29)
	教育社会学	1後			2							兼1 より充実した教育内容とするためオンライン形式の授業担当者を追加 (27)
	人権教育	未開講 3前			2							兼12 担当者辞退による担当者変更 (28)
	教育行政学	1後			2							兼21 教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったため担当者を変更 (27)
	教育課程総論	2前			2							兼121 授業運営上の都合によりオンライン形式から変更および定年退職による担当者変更 (29)
	道徳教育の理論と実践	1後			2							兼1 より充実した教育内容とするためオンライン形式の授業担当者を追加 (27)
	特別活動論	1後			2							兼12 より充実した教育内容とするためオンライン形式の授業担当者を追加 (27)
	教育方法の理論と実践	3前			2							兼12 より充実した教育内容とするためオンライン形式の授業担当者を追加 (27)
	生徒指導論 (栄教・養教)	2後			2							兼1 より充実した教育内容とするためオンライン形式の授業担当者を追加 (27)
	教育相談	2前			2							兼12 定年退職による担当者変更 (29)
	養護実習指導	4前			1				1			兼2 定年退職による担当者変更 (29)
	養護実習A	4後			4				1			兼2 定年退職による担当者変更 (29)
	養護実習B	4後			2				1			兼2 定年退職による担当者変更 (29)
	教職実践演習 (養護教諭)	4後			2				1			兼2 定年退職による担当者変更 (29)
	教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1				1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計(A)	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
63	110	17	190	63	110	17	190	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	[該当なし]					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	[該当なし]					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[該当なし]

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{190} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸女子短期大学（必要面積7,200㎡）と共用		
	校舎敷地	60,601.00㎡	4,174.00㎡	17,849.56㎡	82,624.56㎡			
	運動場用地	9,999.00㎡	0.00㎡	6,675.28㎡	16,674.28㎡			
	小 計	70,600.00㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	99,298.84㎡			
	そ の 他	75,023.61㎡	0.00㎡	0.00㎡	75,023.61㎡			
	合 計	145,623.61㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	174,322.45㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸女子短期大学（必要面積5,900㎡）と共用			
	(45,933.72㎡)	(7,085.46㎡)	(24,002.42㎡)	(77,021.60㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43室	21室	39室	6室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	看護学部看護学科		33 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学生の修学環境の充実を図る (28) 学生の修学環境の充実を図る (29)
	看護学部看護学科	4,800 [580] 4,300 [520] 3,200 [500] (4,564 [554]) (3,641 [507]) (3,200 [500])	66 [13] (66 [13])	6 [5] (6 [5])	300 250 83 (293) (194) (83)	3,013 (3013)	19 (19)	
	計	4,800 [580] 4,300 [520] 3,200 [500] (4,564 [554]) (3,641 [507]) (3,200 [500])	66 [13] (66 [13])	6 [5] (6 [5])	300 250 83 (293) (194) (83)	3,013 (3013)	19 (19)	
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			学生の修学環境を改善 するため (28)	
	1,967.78㎡	318 313席		110,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,334.04㎡	テニスコート 3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	15,437千円	4,864千円	4,864千円
	共 同 研 究 費 等	7,332千円	7,332千円	設備購入費	122,912千円	90,246千円	4,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸女子大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
家政学研究科 (博士前期課程)										
食物栄養学専攻	2	8	-	16	修士 (食物栄養学)	0.50	昭和59年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1		
生活造形学専攻 (博士後期課程)	2	6	-	12	修士 (生活造形学)	0.25	平成7年度	同上		
食物栄養学専攻	3	2	-	6	博士 (食物栄養学)	0.33	平成元年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1		
生活造形学専攻	3	2	-	6	博士 (生活造形学)	0.16	平成9年度	同上		
文学研究科 (博士前期課程)										
日本文学専攻	2	4	-	8	修士 (日本文学)	0.00	昭和61年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1		
英文学専攻	2	4	-	8	修士 (英文学)	0.25	昭和61年度	同上		
日本史学専攻	2	4	-	8	修士 (日本史学)	0.50	昭和61年度	同上		
教育学専攻 (博士後期課程)	2	4	-	8	修士 (教育学)	0.12	昭和62年度	同上		
日本文学専攻	3	2	-	6	博士 (日本文学)	0.00	平成5年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1		
英文学専攻	3	2	-	6	博士 (英文学)	0.00	平成4年度	同上		
日本史学専攻	3	2	-	6	博士 (日本史学)	0.16	平成3年度	同上		
教育学専攻	3	2	-	6	博士 (教育学)	0.16	平成元年度	同上		
健康栄養学研究科 (修士課程)										
健康栄養学専攻	2	4	-	8	修士 (健康栄養学)	0.62	平成28年度	兵庫県神戸市中央区港島中町4-7-2		
大学の名称	神戸女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
文学部										
日本語日本文学科	4	60	-	240	学士 (日本語日本文学)	1.00	平成18年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1		
英語英米文学科	4	60	-	240	学士 (英語英米文学)	0.96	平成18年度	同上		
神戸国際教養学科	4	40	-	160	学士 (国際教養学)	1.18	平成18年度	同上		
史学科	4	60	-	240	学士 (歴史学)	0.95	昭和44年度	同上		
教育学科	4	165	-	660	学士 (教育学)	1.04	昭和44年度	同上		

健康福祉学部											
社会福祉学科	4	80	-	320	学士 (社会福祉学)	0.88	平成18年度	兵庫県神戸市中央区港島中町4-7-2	平成29年度より入学定員(60→80)変更		
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	260	学士 (栄養学)	1.06	平成21年度	同上			
家政学部											
家政学科	4	80	-	320	学士 (家政学)	1.10	昭和41年度	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1	平成29年度より入学定員(140→150)及び編入学定員(20→10)変更		
管理栄養士養成課程	4	150	3年次 10	600	学士 (栄養学)	1.05	昭和43年度	同上			
看護学部											
看護学科	4	80	-	240	学士 (看護学)	1.12	平成27年度	兵庫県神戸市中央区港島中町4-7-2			
大学の名称	神戸女子短期大学								備考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍					
総合生活学科	2	120	-	240	短期大学士 (総合生活学)	0.76	平成8年度	兵庫県神戸市中央区港島中町4-7-2	平成29年度入学定員変更(140→120)		
食物栄養学科	2	120	-	260	短期大学士 (食物栄養学)	0.73	平成8年度	同上			
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育学)	0.94	昭和30年度	同上			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	野並 葉(城)子(65)	平成27年4月	基礎Ⅰ※ 看護学概論 生活概論※ 看護倫理※ 実践看護論 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	教授	東 ますみ(52)	平成28年4月	生活概論※ 看護情報学 コミュニティ看護実習Ⅰ 災害看護※ 医療ケアシステム論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
兼任	講師	東 ますみ(51)	平成27年4月	生活概論※						
専	教授	藤田 冬子(52)	平成27年4月	看護倫理※ 老年看護論 コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ※ コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ※ コミュニティ看護実習Ⅰ コミュニティ看護実習Ⅱ(老年) コミュニケーションシステム論※ 医療看護実習Ⅱ(急性期) 家族看護論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	教授	玉木 敦子(50)	平成27年4月	基礎Ⅰ※ 看護倫理※ 災害看護※ 精神看護論※ こころの健康増進と看護 精神看護支援技術演習※ 医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(精神) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	教授	下敷領 須美子(63)	平成27年10月	看護倫理※ 女性の健康増進と看護 成育看護技術演習Ⅰ※ 成育看護技術演習Ⅱ※ 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性) 助産診断技術論演習 助産管理 助産学実習 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
兼任	講師	下敷領 須美子(63)	平成27年4月	学びのグループゼミⅠ						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	魚里 明子 (58)	平成27年4月	基礎Ⅲ 在宅看護論※ コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ※ コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ※ コミュニティ看護実習Ⅰ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論Ⅱ 公衆衛生看護管理論 災害看護※ 公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	教授	宇(宇)賀 昭二 (65)	平成27年4月	基礎Ⅰ※ 公衆衛生学 疫学 保健統計学 感染免疫学 医療ケアシステム論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ						
専	教授	横内 光子 (51)	平成28年4月	災害看護※ 医療ケアシステム論※ 急性期看護論 治療療養支援技術演習※ 医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(急性期) 医療看護実習Ⅱ(慢性期) 家族看護論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	教授	内 正子 (48)	平成27年4月	災害看護※ 小児看護論 家族看護論※ 成育看護技術演習Ⅰ※ 成育看護技術演習Ⅱ※ 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	准教授	川喜田 恵美 (46)	平成28年4月	老年看護実践方法論 コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ※ コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ※ コミュニティ看護実習Ⅰ コミュニティ看護実習Ⅱ(老年) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
兼任	講師	川喜田 恵美 (45)	平成27年4月	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ※						

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	田村 康子 (46)	平成27年4月	災害看護※ 母性看護論 成育看護技術演習Ⅰ※ 成育看護技術演習Ⅱ※ 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性) 助産学概論 助産診断技術論演習 助産学実習 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)							
専	講師	丸山 有希 (47)	平成27年4月	健康相談活動 学校保健Ⅱ コミュニケーション論※ 学校保健Ⅰ 養護概説 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※ 特別支援学校体験活動							
専	講師	馬場 敦子 (42)	平成27年4月	生活概論※ 生活援助論 予防看護論 コミュニケーション看護技術演習Ⅰ※ コミュニケーション看護技術演習Ⅱ※ コミュニティ看護実習Ⅰ 公衆衛生看護活動論実習 医療看護実習Ⅰ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)							
専	講師	菅野 由美子 (37)	平成28年4月	看護倫理※ 小児療養看護論 成育看護技術演習Ⅰ※ 成育看護技術演習Ⅱ※ 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)							
専	講師	福山 敦子 (39)	平成27年4月	地域学習 在宅看護論※ コミュニケーション看護技術演習Ⅰ※ コミュニケーション看護技術演習Ⅱ※ コミュニティ看護実習Ⅰ コミュニケーション論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	小路 浩子 (55)	平成28年4月	コミュニティ看護実習Ⅰ 地域看護活動論 公衆衛生看護演習 公衆衛生看護活動論Ⅰ 公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	講師	藤原 由子 (41)	平成27年4月	コミュニティシステム論※ 慢性期看護論 治療療養支援技術演習※ 医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(急性期) 医療看護実習Ⅱ(慢性期) 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	講師	牛越 幸子 (45)	平成27年4月	コミュニティシステム論※ 医療看護実習Ⅰ 成育看護技術演習Ⅰ※ 成育看護技術演習Ⅱ※ 成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性) 助産診断技術論 助産診断技術論演習 助産学実習 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	講師	元木 絵美 (39)	平成27年4月	災害看護※ 治療看護論 治療療養支援技術演習※ 医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(慢性期) 家族看護論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	講師	大谷 利恵 (39)	平成27年4月	精神看護論※ 精神看護支援技術演習※ 医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(精神) 家族看護論※ 学びのグループゼミⅠ 学びのグループゼミⅡ 学びのグループゼミⅢ 学びのグループゼミⅣ 課題探究 総合実習(地域・在宅)						
専	助教	深山 つかさ (33)	平成28年4月	コミュニティ看護実習Ⅰ コミュニティ看護実習Ⅱ(老年) 総合実習(地域・在宅)	専	助教	服部めぐみ (33) 後任未定	平成28年10月	コミュニティ看護実習Ⅰ コミュニティ看護実習Ⅱ(老年) 総合実習(地域・在宅)	平成28年10月より担当者変更 平成28年7月AC教員審査済 (29) 平成28年10月から専任教員採用予定 平成28年6月変更書提出予定(28) 平成27年4月 「後任未定」 深山つかさ助教就任辞退(27) 平成28年4月から専任教員 採用予定
専	助教	溝畑 智子 (38)	平成27年4月	コミュニティ看護実習Ⅰ 公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習 総合実習(地域・在宅)						
専	助教	小林 愛 (33)	平成27年4月	コミュニティ看護実習Ⅰ 公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習 総合実習(地域・在宅)						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	助教	美濃 千里 (65)	平成30年4月	公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習	専	助教	高橋 秋絵 (35)	平成29年4月	公衆衛生看護活動論実習 公衆衛生看護管理論実習	平成29年3月 美濃千里助教就任辞退のため平成29年度より担当者変更 平成29年1月AO教員審査済(29)
専	助教	奥井 早月 (33)	平成28年4月	医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(慢性期) 総合実習(地域・在宅)						
専	助教	鷺田 幸一 (40)	平成29年4月	医療看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅱ(慢性期) 総合実習(地域・在宅)						
専	助教	西方 弥生 (37)	平成27年4月	成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児) 総合実習(地域・在宅)						
専	助教	岡本 恵 (36)	平成27年4月	成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性) 助産学実習 総合実習(地域・在宅)						
兼任	教授	狩野 恭 (63)	平成27年4月	心とからだの健康※ 生命倫理						
兼任	教授	吉川 豊 (41)	平成27年4月	食品学総論				平成27年4月	女性Ⅲ※	より充実した教育内容とするためムニバス形式の授業担当者を追加(27)
								平成27年4月	衣・食・住Ⅱ※	授業内容の充実を図るためにムニバス形式の授業とし担当者を追加(27)
兼任	教授	松崎 喜良 (66)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※ 社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論						
兼任	教授	加堂 哲治 (66)	平成27年4月	人体のしくみと機能Ⅰ 人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※						
兼任	教授	岸本 芳信 (68)	平成27年4月	教職論	兼任	教授	松崎 隆幸 (60)	平成29年4月	教職論	平成29年3月 岸本芳信教授定年退職のため担当者変更(29)
				教育課程総論					教育課程総論※	授業運営上の都合によりムニバス形式から変更および平成29年3月岸本芳信教授定年退職のため担当者変更(29) より充実した教育内容とするためムニバス形式の授業に変更(27)
				養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※					養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	平成29年3月 岸本芳信教授定年退職のため担当者変更(29)
兼任	教授	田中 美紀子 (55)	平成27年4月	人権教育 道徳教育の理論と実践				人権教育※	より充実した教育内容とするためムニバス形式の授業に変更(27)	
兼任	教授	榎元 十三男 (61)	平成28年4月	生徒指導論(栄教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※						
兼任	教授	山下 俊介 (65)	平成27年4月	基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2				平成27年4月	外国語コミュニケーションⅠ	履修者数に応じ、教育効果に配慮して担当者を追加(27)
							平成27年4月	外国語コミュニケーションⅡ	履修者数に応じ、教育効果に配慮して担当者を追加(27)	
兼任	教授	泉 妙子 (60)	平成27年4月	女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※						
兼任	教授	鈴木 一永 (50)	平成27年4月	女性Ⅲ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	梶原 苗美 (69)	平成27年4月	女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※				平成27年4月	衣・食・住Ⅱ※	授業内容の充実を図るために「ムバス」形式の授業とし担当者を追加(27)
兼担	教授	平田 耕造 (63)	平成27年4月	女性Ⅲ※						
兼担	教授	栗原 伸公 (50)	平成27年4月	女性Ⅲ※						
兼担	教授	今井 修平 (65)	平成27年4月	神戸学※						
兼担	教授	梶木 典子 (50)	平成27年4月	神戸学※						
兼担	教授	中山 ふみ江 (64)	平成27年4月	ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-A ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-B ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-C ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-D				平成27年10月	ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-A ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-B ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-C ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-D	授業内容の充実を図るために隔年で担当することとした(28)
兼担	教授	前田 研史 (60)	平成27年4月	心とからだの健康※						
兼担	教授	木下 由紀子 (56)	平成28年4月	言葉と文学Ⅲ【隔年】			後任未定			平成27年3月 木下由紀子教授退任(27) 「後任未定」 平成27年度中に決定予定
					兼担	教授	丸橋 良雄 (65)	平成28年4月	言葉と文学Ⅲ【隔年】	就任辞退による担当者の変更(28)
兼担	教授	小笠原 慶彰 (60)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	教授	植戸 貴子 (57)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	教授	横山 正子 (64)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	准教授	佐藤 浩樹 (52)	平成27年4月	特別活動論					特別活動論※	より充実した教育内容とするため「ムバス」形式の授業に変更(27)
兼担	准教授	小沢 康英 (54)	平成27年4月	神戸学※ 現代社会Ⅱ						
兼担	准教授	林 利恵子 (63)	平成27年4月	神戸学※						
兼担	准教授	十一 玲子 (56)	平成27年4月	神戸学※						
兼担	准教授	来海 素存 (62)	平成27年4月	神戸学※						
兼担	准教授	重福 京子 (61)	平成27年4月	基礎トレーニング ｽﾎｰｯと健康の科学 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-1 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-2 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-3 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-4 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-5 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-6 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-7 心とからだの健康※						
								平成27年10月	ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-A ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-B ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-C ｽﾎｰｯ実技Ⅱ-D	授業内容の充実を図るために隔年で担当することとした(28)
兼担	准教授	清水 弥生 (51)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	准教授	津田 理恵子 (51)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※		教授		平成27年4月		教授に職位変更(27)
兼担	准教授	眞野 典子 (63)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	准教授	曾田 里美 (46)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	准教授	木村 あい (41)	平成27年4月	現代社会Ⅴ※						
兼担	講師	松浦 紀美恵 (57)	平成27年4月	心とからだの健康※						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	助教	下司 実奈 (57)	平成27年4月	心理学Ⅰ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※		准教授		平成27年4月		准教授に職位変更(27)
				教育心理学Ⅱ	兼任	教授	中島 實 (63)	平成27年4月	教育心理学Ⅱ	教育効果を高めるため該 当科目の教育実績のある 教員を担当者として教職 課程認定申請を行ったた め担当者を変更(27)
兼任	助教	竹田 和恵 (42)	平成27年4月	情報Ⅰ						
				教育方法の理論と実践					教育方法の理論 と実践※	より充実した教育内容と するためにもバリエーション 形式の授業に変更(27)
兼任	助教	谷山 優子 (53)	平成28年4月	教育相談					教育相談※	より充実した教育内容と するためにもバリエーション 形式の授業に変更(27)
						准教授		平成28年4月		准教授に職位変更(28)
兼任	助教	松本 衣代 (37)	平成27年4月	女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※				平成27年4月		准教授に職位変更(27)
				衣・食・住Ⅱ					衣・食・住Ⅱ※	授業内容の充実を図るた めにバリエーション形式の 授業とした(27)
兼任	助教	村田 恵子 (45)	平成27年4月	自然と環境Ⅱ						
兼任	講師	上曾山 博 (58)	平成27年4月	特別生物 特別化学						
兼任	講師	伊藤 篤 (57)	平成27年4月	発達心理学						
兼任	講師	七野 敏光 (60)	平成27年4月	現代社会Ⅰ 医療と法						
兼任	講師	笹原一秀夫 (58)	平成27年4月	コミュニケーション論(表現学)					コミュニケーション論(表 現学)※	授業運営上の都合によりバ リエーション形式から変更し たことによる担当取消し (29) より充実した教育内容と するためにもバリエーション 形式の授業に変更(28)
兼任	講師	野之上 操 (59)	平成27年4月	ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-1 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-2 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-3 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-4 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-5 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-6 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-7 ﾌﾗﾝｼﾞｶﾙﾌｨｯﾄﾈｽ						
兼任	講師	倉田 誠 (41)	平成30年4月	国際保健						
兼任	講師	島田 順子 (64)	平成27年4月	英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 医療英語						
兼任	講師	安田 尚史 (51)	平成28年4月	疾病と治療Ⅰ						
兼任	講師	佐古 辰夫 (52)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	高橋 玲比古 (60)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	眞庭 謙昌 (50)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	田中 優子 (47)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	吉田 泰久 (54)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	水野 敏行 (53)	平成28年4月	疾病と治療Ⅱ※						
兼任	講師	李(平岩)英培 (62)	平成28年4月	薬理学						
兼任	講師	橋本 健志 (57)	平成28年4月	疾病と治療Ⅳ						
兼任	講師	山崎 峰夫 (59)	平成28年4月	疾病と治療Ⅴ						
兼任	講師	西尾 久英 (61)	平成28年4月	疾病と治療Ⅵ						
兼任	講師	保田 その (43)	平成27年4月	教育基礎論Ⅱ 教育社会学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	和田 清美 (65)	平成27年4月	教育行政学	兼任	講師	吉泉 和憲 (64)	平成27年4月	教育行政学※	教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったため担当者を変更(27)
					兼任	講師	藤井 雅英 (60)	平成27年4月	教育行政学※	
					兼任	講師	山下 晃一 (45)	平成28年4月	教育行政学	
								平成29年4月	教育方法の理論と実践※	より充実した教育内容とするためムバス形式の授業に変更(27)
兼任	講師	内藤(河原) 葉子 (44)	平成27年4月	女性Ⅰ 現代社会Ⅲ						
兼任	講師	小河 洋子 (46)	平成27年4月	女性Ⅱ						
兼任	講師	松田 祐子 (62)	平成27年4月	女性Ⅳ 歴史Ⅲ【隔年】						
兼任	講師	武藤 美也子 (69)	平成27年4月	神戸学※				平成28年4月	神戸学※	所属大学が定年退職のため非常勤講師から学外特別講師として招聘する。(26)
兼任	講師	Vanden Ronald Edmund (61)	平成27年4月	英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2						
兼任	講師	深井 美智子 (61)	平成27年4月	英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	毛利 真実 (53)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2 ドイツ語会話Ⅰ ドイツ語講読Ⅰ						
兼任	講師	竹垣 江梨子 (31)	平成27年4月	フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講読Ⅰ			廣岡 江梨子 (31)			婚姻により改姓(27)
兼任	講師	柴田 清継 (62)	平成27年4月	中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語会話Ⅰ 中国語講読Ⅰ						
兼任	講師	鄭 東憲 (53)	平成27年4月	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講読Ⅰ						
兼任	講師	吉富 文 (43)	平成27年4月	イタリア語Ⅰ-1 イタリア語Ⅰ-2 イタリア語会話Ⅰ イタリア語講読Ⅰ						
兼任	講師	平田 真弓 (50)	平成27年4月	情報Ⅰ						
兼任	講師	清光 英成 (44)	平成27年4月	情報Ⅱ						
兼任	講師	山本 辰生 (38)	平成27年4月	ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-1 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-2 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-3 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-4 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-5 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-6 ｽﾎｰｯ実技Ⅰ-7						
兼任	講師	黒瀬 勉 (64)	平成27年4月	哲学 宗教						
兼任	講師	大山 範子 (51)	平成27年4月	言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ 教養総合Ⅳ 教養総合Ⅵ 教養総合Ⅷ						
兼任	講師	山口 知子 (55)	平成27年4月	言葉と文学Ⅱ【隔年】						
兼任	講師	志賀(藤原)節子 (65)	平成27年4月	歴史Ⅰ						
兼任	講師	毛利 英介 (37)	平成27年4月	歴史Ⅱ【隔年】						
兼任	講師	笹田 哲男 (63)	平成27年4月	日本国憲法						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	和田 賢治 (42)	平成27年4月	現代社会Ⅳ	兼任	講師	笹田 哲男 (63)	平成27年4月	現代社会Ⅳ	就任辞退による担当者の変更(27)
兼任	講師	澤田 麻衣子 (39)	平成27年4月	数学Ⅰ	兼任	講師	岡田 真和 (62)	平成29年4月	数学Ⅰ	担当者の変更(29) 就任辞退による担当科目の追加(28)
								平成29年4月 平成28年4月	数学Ⅱ	
兼任	講師	浅木森 和夫 (62)	平成27年4月	数学Ⅱ	兼任	講師	岡田 真和 (62) 澤田 麻衣子 (40)	平成29年4月 平成28年4月	数学Ⅱ	担当者の変更(29) 就任辞退による担当者の変更(28)
兼任	講師	本間一康浩 (68)	平成27年4月	自然と環境Ⅰ						設置時の計画通り、雇用期間満了による担当者変更(29)
兼任	講師	森下 淳也 (61)	平成29年4月	自然と環境Ⅰ						
兼任	講師	林 孝三 (63)	平成27年4月	芸術Ⅰ						
兼任	講師	服部 智行 (50)	平成27年4月	芸術Ⅱ						
兼任	講師	崔 杉昌 (53)	平成27年4月	教養総合Ⅰ 教養総合Ⅲ 教養総合Ⅴ 教養総合Ⅶ						
					兼任	教授	奥野 直 (56)	平成27年4月	女性Ⅲ※	より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加(27)
					兼任	准教授	佐藤 誓子 (49)	平成27年4月	衣・食・住Ⅱ※	授業内容の充実を図るためにオムニバス形式の授業とし担当者を追加(27)
					兼任	教授 准教授	小原 依子 (44)	平成27年4月	衣・食・住Ⅱ※	教授に職位変更(29) 授業内容の充実を図るためにオムニバス形式の授業とし担当者を追加(27)
					兼任	教授	前田 研史 (60)	平成28年4月	教育相談※	より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加(27)
					兼任	講師	伊藤 昇 (66)	平成29年4月	人権教育※	より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加(27)
					兼任	講師	長瀬一荘一 (64)	平成28年4月	教育課程総論※	授業運営上の都合によりオムニバス形式から変更したことによる担当取消し(29) より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加(27)
					兼任	講師	長瀬 善雄 (59)	平成27年4月	特別活動論※	より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加(27)
					兼任	講師	北川 勝利 (57)	平成27年10月	コミュニケーション論(表現学)※	授業運営上の都合によりオムニバス形式から変更(29) より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更(28)
					兼任	講師	松村 雄樹 (30)	平成28年4月	ｽﾎｰﾝ実技Ⅰ-2 ｽﾎｰﾝ実技Ⅰ-4 ｽﾎｰﾝ実技Ⅰ-6	履修者数に応じ、教育効果に配慮して担当者を追加(28)
					兼任	教授	齊山 美津子 (67)	平成29年4月	ｽﾎｰﾝ実技Ⅱ-A ｽﾎｰﾝ実技Ⅱ-B ｽﾎｰﾝ実技Ⅱ-C ｽﾎｰﾝ実技Ⅱ-D	授業内容の充実を図り担当者を追加(29)
					専	助教	高橋 秋絵 (35)	平成29年4月	総合実習(地域・在宅)	教育内容の充実を図り担当者を追加 平成29年1月AC教員審査済(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
9	2	9	8	28	9	2	9	8	28	9	2	9	8	28
(6)	(1)	(7)	(4)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時 （上記（A）） の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時（上 記（B））の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	助教	深山 つかさ	必修	コミュニティ看護実習Ⅰ	①	予定教員は当時所属していた京都橋大学の教授から慰留の打診があり、平成26年11月末に京都橋大学の教員公募に応募した。応募書類は受理され、その後予定教員から本学に対し、平成28年4月就任を辞退する旨の申し出があった。(27)				
			必修	コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）	①					
			必修	総合実習（地域・在宅）	①					
2	助教	美濃 千里	選択	公衆衛生看護活動論実習	①	教員編成計画の変更を学園及び教員等と協議したことを受け、就任辞退。(29)				
			選択	公衆衛生看護管理論実習	①					
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-					
			-	-	-					
2	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-					
			-	-	-					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
-	人	必修	-	科目	必修	-	科目	必修	-	科目
		選択	-	科目	選択	-	科目	選択	-	科目
		自由	-	科目	自由	-	科目	自由	-	科目
		計	-	科目	計	-	科目	計	-	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－①・(3)－②の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2人	必修	3科目	必修	3科目	必修	0科目	必修	0科目
	選択	2科目	選択	2科目	選択	0科目	選択	0科目
	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目
	計	5科目	計	5科目	計	0科目	計	0科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

深山つかさ氏の後任は、平成28年4月に後任者を事務職員として採用しており、平成28年度第2回目(審査期間7月)のAC教員審査を受けるべく、「専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)」の提出準備中である。教員審査の適確判定後に平成28年10月1日付けで神戸女子大学看護学部助教として採用予定である。
平成28年10月数人予定の教員で、かつ、担当予定科目の開講が平成28年後期のため、平成28年後期開始前の履修登録説明時に学生への周知を図る予定である。(27)

深山つかさ氏の後任者として、前述のとおり平成28年度第2回目(審査期間7月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目可の判定を受けて、服部めぐみ氏が平成28年10月より神戸女子大学看護学部助教として就任している。
また、平成30年4月就任予定であった美濃千里氏の後任者については、高橋秋絵氏が平成28年度第4回目(審査期間1月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目可の判定を受け、平成30年4月就任予定より1年早く平成29年4月に神戸女子大学看護学部助教として就任した。
美濃千里氏については、平成30年4月就任予定の教員であり担当科目も平成30年度開講のため履修登録には全く影響はないが、担当科目予定者を変更し、かつ、履修登録説明時に学生への周知を図る予定である。(29)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年5月)	<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に、上級学年の実習報告やディスカッションを聴くものが含まれているが、完成年度を迎え全学年がそろうまではそのような授業は行えず科目設定の狙いに沿った学修ができないおそれがあることから、それらの内容と同等の学修効果を得られる代替手段を講じるなどして十分な学修内容を担保できるようにすること。</p>	<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師（学外特別講師）を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(27)</p>	該当なし(27)
		<p>留意事項</p> <p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、平成27年度と同様、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師（学外特別講師）を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(28)</p>	
		<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、平成27年度、平成28年度と同様、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師（学外特別講師）を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(29)</p>	
	<p>・文学部神戸国際教養学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>留意事項</p> <p>・平成27年度の入学者選抜において、歩留まり率や入学辞退者数などを考慮し、入学定員が超過することのないよう努めた結果、40名の定員に対して、36名の入学者数となった。(27)</p>	該当なし(27)
		<p>・入学者選抜において、歩留まり率や入学辞退者数などを考慮し、入学定員が超過することのないよう努めた結果、40名の定員に対して、42名の入学者数、入学定員超過率は1.05倍となった。(28)</p>	

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
			<p>・設置申請時の平均入学定員超過率は1.32倍であり、これにより定員超過の是正について留意事項を付された。</p> <p>平成29年度の入学者数は40名の定員に対して55名となり入学定員超過率は1.38倍という結果となったが、直近4年間の平均入学定員超過率は1.18倍となっている。引き続き、より精度の高い歩留まり率の設定等を行い、入学定員超過の是正に努めることとする。(29)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし	-	-
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし	-	-
設置計画履行状況 調 査 時 (-年-月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸女子大学FD・SD委員会規程（別紙を添付） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD委員会（H29年度第1回 H29.5開催予定、例年適宜5,6回開催） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD の立案、運営及び支援、並びにFD・SD 活動の情報収集及び提供に関する事項等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業アンケート」の立案・実施およびフィードバック ・ 「授業の自己点検書」の立案・実施およびフィードバック ・ 授業公開制度の運用 ・ 学外フォーラム等への参加と高等教育研究動向の報告 等 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD委員会が、すべての取り組みの趣旨および実施要項などを、教授会等において報告し実施している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業の自己点検書」の回答状況 44.66% [H28年度後期（専任教員）] <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教員は、「授業アンケート」の結果を受けて「授業の自己点検書」に改善が必要な課題とそれに対応した取組みを記載して、委員会に報告している。 委員会では報告結果のうち、全学で「共有」すべき内容を抽出して教授会で報告し、教員の授業改善の取組みを支援している。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期および後期の授業期間に各々1回ずつ実施 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員には全担当科目の結果を示し、かつ集計結果から「共有」すべき内容を教授会で報告。 学生には全授業の結果を学内ポータルサイトで公開。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部看護学科は開設3年目を迎え、まず看護学の学習に意欲を持った学生の確保が順調にすすんでいる。次に本学科カリキュラムの進行が順調に進んでおり、専門知識・技術は勿論のこと、学生の対話力・自立心が育ってきていると評価している。さらに3年次を迎えて予定の本学科教員35名が揃い、看護実習を含めた教育体制、学科運営体制が整ってきている。以上より、設置の趣旨・目的は、順当に達成の方向に進んでいると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年4月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審した。（次期受審は平成35年度を予定）

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年 7月 1日 予定)

神戸女子大学FD・SD委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学FD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置き、本学における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（FD）を実施するとともに、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（SD）の機会を設けることその他必要な取組を行うことを目的とする。

（委員会）

第2条 委員会は、学長が教職員の中から任命する者をもって構成する。

2 委員長は学長があたり、委員長に事故があるときは、委員長が代理を指名する。

3 学長は、委員会を円滑に運営するために、FD・SD統括責任者（以下「統括責任者」という。）を置く。統括責任者は委員会を招集し、議長となる。

4 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

5 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) FD・SDの立案、運営及び支援に関する事項
- (2) FD・SD活動の情報収集及び提供に関する事項
- (3) その他、委員会が必要と認める事項

2 前項各号について審議された事項は、部局長会に報告する。

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、IR・大学教育推進事務室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会及び部局長会の意見を聴き学長が行う。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から実施する。